

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年08月26日

計画の名称	新庄盆地における神室（山）の水再生計画（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	新庄市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,167	A	1,167	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初		H31末
1	公共下水道の処理人口普及率を53.3%（H30）から55.8%（H31）に増加させる。			
	公共下水道処理人口普及率 整備人口（人） / 行政人口（人）	53%	%	56%
2	公共下水道整備区域内の水洗化率を82.8%（H30）から83.6%（H31）に増加させる。			
	公共下水道水洗化率 水洗化人口（人） / 整備人口（人）	83%	%	84%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	新庄市	直接	新庄市	管渠(汚水)	新設	中央1号・3号・4号幹線及び枝線(未普及解消)	200~350mm L=1.0km	新庄市						77	-	
	A07-002	下水道	一般	新庄市	直接	新庄市	管渠(汚水)	新設	南部1号・1-2号・2号幹線及び枝線(未普及解消)	200~350mm L=4.8km	新庄市						438	-	
	A07-003	下水道	一般	新庄市	直接	新庄市	管渠(汚水)	新設	北部1号・4号・5号幹線及び枝線(未普及解消)	200~350mm L=6.2km	新庄市						652	-	
												小計						1,167	
												合計							1,167

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
新庄市行政評価推進委員会において、事業効果の検証及び数値目標の達成状況を検証し、今後の整備計画を検討した。	令和2年度
	公表の方法 市のホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画的に整備が進められ、新庄処理区の生活環境の向上と水質保全がある程度保たれたが、目標値を達成することができず、今後、目標値を見直し、事業の効果を図りたい。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	56	
	最終目標値	56%
	最終実績値	53%
2	84	
	最終目標値	84%
	最終実績値	80%

目標値の設置について、人口の変動を見越した目標値の設定ができなかったことが要因にあげられる。

目標値の設置について、人口の変動を見越した目標値の設定ができなかったことが要因にあげられる。また、水洗化を促す啓発活動においても、整備事業にウエイトをおいたため十分な啓発活動を実施することが出来なかったこともひとつの要因にあげられる。